

# 弥彦神社新嘗祭 神前に新米供え 収穫に感謝

## 宮中や全国の神社で行われる大祭

### 巫女四人「浦安の舞」を奉奏

### 稲の香におう稲穂の献納米

### この日昼食から新米に

弥彦村弥彦、越後一の宮弥彦神社(渡部吉信宮司代務者)は、勤労感謝の日(23日)午前十一時から同神社拝殿で新嘗祭(こいなめさい)を行い、初穂講員など約二百五十人が参列のもと、神前に新米を供えて収穫に感謝するとともに講員の来年の豊かな実りを祈願した。

新嘗祭は宮中や全国の神社で行われる大祭で、五穀の収穫を感謝するとともに、国家、国民の平安と繁栄を祈願する。

弥彦神社では毎年十一月二十三日、二十四の二日間、初穂講員秋大祭を行っており、一日目の二十三日に秋季大祭と併せて新嘗祭を行っている。

初穂講は、初穂を弥彦神社に献納する農家の講組織で、現在の講員数は約二千人。もともと、弥彦神社には農家から初穂が献納され、優良米授賞式などを行っていたが、大正五年、現在の社殿の完成を記念して継続的な講組織となり、講員の献納米を社殿の維持修繕に充てている。

御遷座百年の一昨年、初穂講も創立百周年を迎え、その記念事業として、境内に、献穀米の一時保管、調製などを行う「初穂講百年記念みずほ館」を建設した。

新嘗祭には初穂講員の農家をはじめ、氏子会役員、来賓などが参列。



新米などの神せんを献する神職



巫女四人が「浦安の舞」を奉奏

初穂講は、初穂を弥彦神社に献納する農家の講組織で、現在の講員数は約二千人。もともと、弥彦神社には農家から初穂が献納され、優良米授賞式などを行っていたが、大正五年、現在の社殿の完成を記念して継続的な講組織となり、講員の献納米を社殿の維持修繕に充てている。

御遷座百年の一昨年、初穂講も創立百周年を迎え、その記念事業として、境内に、献穀米の一時保管、調製などを行う「初穂講百年記念みずほ館」を建設した。

新嘗祭には初穂講員の農家をはじめ、氏子会役員、来賓などが参列。

最後に講員を代表して座地を代表して青木勉彦彦村副村長、来賓代表の舟崎淳新湯地方気象台長が玉くしをささげて拝礼した。

最後に講員を代表して黒坂正春審議員が玉くしをささげ、拝殿の講員も神せんのコメや酒、野一揃いに二礼四拍手一礼で菜、果物、海産物などは、ほかの神事とほぼ同じだが、コメはこの日から新米となり、奉仕する神職の食事はこの日の昼食から新米に代わった。

祝詞奏上では、渡部宮司代務者がこしの収穫に感謝し、皇室の繁栄、新湯町の発展などに加え、初穂講員の来年の豊かな実りを祈願した。



みずほ館には稲穂のままの献納米も

### 町内の角川博、坂本冬美

### 嵐南公民館 芸能発表会 新舞踊や詩吟も

三条市南四日町二、嵐南公民館(齋藤真佐男館長)と芸能発表会実行委員会(橋爪紀雄実行委員長)は、二十六日午前十時半から同公民館大集会室で嵐南地区芸能発表会を開き、公民館サークルと一般合わせて五十三組(曲)、延べ七十九人が新舞踊やフラダンス、カフオケから詩吟まで色とりどりのステージを繰り広げる。

【カラオケ】△嵐南歌唱サークル一組△嵐南歌唱サークル二組△嵐南歌唱サークルこぶし△嵐南歌唱サークルすみれ

【民舞】△民舞美里会

【フラダンス】△ロケラ

【尺八】△竹風会

【詩吟】△新湯岳風会



あいさつする渡部宮司代務者



来年の豊かな実りを祈念して祝詞を奏上

### 狂犬ではなく小犬と思う

私が「北でいいのだから朝鮮に對し、出方もよくわかって、鮮の兵士達は、たの、外 大きな裁量権を交や防衛に」といいます。金正恩は「一矢報いてやろ」を残してやる。大な成果を「狂」なく、自己の制の保証に窮れは多大な損害を出し、フセインやアメリカや、つ裂きにされ、吐くものです。東アジアが、北朝鮮と隣接する国と違って、日本の場合、戦力的、コスト的

高野屋の  
フライダル  
神社婚・家族婚  
両家食事会などに